



3本目から出場した巻。得意のポストプレーで大学選抜の攻撃にリズムを生んだ

[上]この試合、唯一得点を決めた金澤(東学大)
[右上]2試合目から出場した廣井。「自分の狙ったところでボールを奪えなかった」と課題を述べた
[右]サイドから突破を図る原。「FWよりもサイドの方が身体がキレていた」と試合後に語る



機能し始めた組織

川崎戦の反省をふまえた守備は変化を見せた
攻撃面でも連動した動きでチャンスは作るが、1得点にとどまった

大学選抜 vs FC東京

2005年6月26日 FC東京小平グラウンド
1本目(35分)
大学選抜 0 - 1 FC東京
[得点](東)8分今野
大学選抜 GK 赤星 拓/DF 伊野波雅彦、登尾顕徳、徳永悠平、小宮山尊信 MF 兵藤慎剛、池上礼一、辻尾真二、高橋大輔/FW 小松 塁、赤嶺真吾
FC東京 GK 土肥洋一/DF 藤田泰成、ジャー、茂庭照幸、金沢 浄/MF 今野泰幸、三浦文丈、石川直宏、栗澤僚一、戸田光洋/FW 近藤祐介

2本目(35分)
大学選抜 0 - 2 FC東京
[得点](東)ルーカス、栗澤
大学選抜 GK 時久省吾/DF 徳永悠平、廣井友信、登尾顕徳、小宮山尊信/MF 伊野波雅彦、池上礼一(衛藤 裕)、辻尾真二、藤本淳吾/FW 高橋大輔(原 一樹)、矢島卓郎
FC東京 GK 土肥洋一/DF 藤田泰成、ジャー、藤山竜仁、金沢 浄(浅利 悟)/MF 今野泰幸、梶山陽平、石川直宏、栗澤僚一、戸田光洋(宮沢正史)/FW ルーカス

3本目(35分)
大学選抜 0 - 1 FC東京
[得点](東)23分常盤
大学選抜 GK 藤井賢心/DF 本田拓也、廣井友信、中村英之、阿部翔平/MF 衛藤 裕、扇塚耕一、原 一樹、金澤大将/FW 赤嶺真吾、巻 佑樹
FC東京 GK 遠藤大志/DF 前田和也、迫井深也、藤山竜仁(増嶋竜也)、尾亦弘友希/MF 宮沢正史、浅利 悟、小林成光、鈴木健児、馬場憂太
FW 常盤 聡

4本目(35分)
大学選抜 1 - 1 FC東京
[得点](大)1分金澤(東)32分尾亦
大学選抜 GK 飯塚 渉/DF 本田拓也、廣井友信、中村英之、阿部翔平/MF 衛藤 裕、扇塚耕一、金澤大将/FW 小松 塁、巻 佑樹、矢島卓郎
FC東京 GK 遠藤大志/DF 前田和也、迫井深也、増嶋竜也、尾亦弘友希/MF 鈴木規郎、宮沢正史(常盤 聡)、小林成光、鈴木健児、馬場憂太
FW 近藤祐介(宮沢正史)



「川崎戦ではあっけなく失点してしまっただけ、乾監督。この言葉通り、川崎戦での守備は得点の際、相手選手をフリーにしてしまつたなど多くの課題が浮き彫りとなった。その試合から中一日で臨んだFC東京戦。この試合は序盤から前日の練習で修正をした効果が見受けられた。ボールは断然FC東京が支配するが、大学選抜は、プレスのかげ方を変え、相手DFラインではボールを回させて、ハーフウェイラインに付近で一気にプレスをかける方法(巻)という戦術が功を奏し、東京には攻撃の形を作らせることは無かった。しかし、2本目の14分には戸田に右サイドから崩され、中央に走りこんだ栗澤が詰めるという展開で失点する。乾監督もこの失点に対しては「FC東京特有の速いパス回しで、ワンタッチで繋がれてしまった。学生とは違うレベル」と相手の上手さを認めざるを得なかった。

その中でも駒大勢は、所属チームでのやり方に近いものがあるために、「前からプレスに行くなど、特徴が出ている」と乾監督から高評価を受けた。特に3本目から出場した巻は、相手がサテライトチームではあるものの、得意のポストプレーで攻撃の起点となり、攻撃陣をリードしていた。大学選抜の攻撃陣は巻という明確な起点ができたため、その周りを動く赤嶺、両サイドハーフの原、金澤が連動して動けるようになった。形になり始めたのは18分、巻の競り合いからのこぼれ球を前線で原が拾う。そのボールを走りこんだ赤嶺につなぎ、ダイレクトでシュートを放つもGK遠藤がファインセーブ。ゴールには至らなかったものの得点を感じさせた瞬間だった。だがその後、得点は4本目にあげた金澤の1得点に留まった。

「今回の合宿は攻撃よりも守備を育てる。今日の試合の収穫は、組織的な守備が出来たこと」と乾監督が振り返るとおり、川崎戦に比べると守備では別物のチームに変わっていた。赤嶺も(チームとして)やるべきことがわかってきて、多少は出来るようになった」と話していることから、徐々にチームとしての戦術理解度が高まり、指揮官、選手たちは、ともに多少なりとも手こたえを掴んだ。その感触を確かなものとするべく、次はジェフ千葉との対戦に臨む。

(川崎篤彦)